

第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画（案）に対するパブリックコメント

1. 募集期間：令和3年12月10日（金）～1月7日（金）
2. 意見の提出者：1名
3. 提案総数：9項目
4. 意見等の概要と市の考え方

	ページ	計画内容等	提出された意見提言等の内容	回答	修正の有無 修正(案)
1	—	真岡市役所における男女平等について	内閣府男女平等参画局が作成している資料「今週の男女共同参画に関するデータ」第2回を元に全職員に対してジェンダー後進国であることの現状把握すると共にジェンダーギャップ指数2021は、日本120位、政治分野147位であり、衆議院女性議員比率165/190位であることを、全職員が周知できるように、真岡市職員でDV行為、発言などを含む男女平等理解度テストの作成及び実施、啓蒙活動を図る。	★基本目標2「あらゆる分野における男女共同参画の推進」 →施策の方向5「地域や社会における男女共同参画の推進」 →施策5-①「政策・方針決定の場における女性の参画」 上記施策の中で、市役所内の女性職員の配置部署の多様化、管理的地位の女性職員の増加に向けた取組等推進してまいります。また、本計画は、令和3年3月に策定した「真岡市における女性活躍の推進に関する特定事業主行動計画（後期計画）」との整合性を図る内容となっております。いただいたご意見を参考に計画を着実に推進してまいります。	修正無
2	—		2022年4月までに職場における女性管理職は男女比に合わせて女性管理職を半数にする。		修正無
3	—		2027年までにどの部署の職場においても男性職員と女性職員の比率を均衡にする。		修正無
4	—	市議会における男女平等について	真岡市内の女性議員の増員に向けて、小中高大生を中心として女性議員人材養成委員会を2022年4月から発足し活動開始を要請する。	★基本目標2「あらゆる分野における男女共同参画の推進」 →施策の方向5「地域や社会における男女共同参画の推進」 →施策5-②「地域活動における女性リーダーの育成の推進」 上記施策の中で、性別を意識することなくあらゆる分野で活躍できる社会を目指すため政策・方針決定の場での女性活躍に向けて、地域での要職などへの女性の参画のための地域活動における女性リーダーの育成を推進してまいります。いただいたご意見は、次期計画策定の際の参考とさせていただきます。	修正無
5	—		2027年までに人口比に合わせて議会における女性議員半数以上にする。		修正無
6	—		2022年4月から議長、副議長のどちらかは、人口比に合わせて必ず女性とし、真岡市教育委員会、各小中学校の校長の半数は、女性とし、委員長、または副委員長のどちらかは必ず女性とする。		修正無

第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画（案）に対するパブリックコメント

7	—	女性活躍、男女平等に向けて真岡市男性育児参加率No. 1を目指して	男性の育児休暇取得率100%を目標値とし、達成する。	★基本目標 1 「男女共同参画社会を支える意識の形成」 →施策の方向 1 「男女共同参画の理解の推進」 → <u>施策1－③「男性の意識改革の促進」</u> ★基本目標 2 「あらゆる分野における男女共同参画の推進」 →施策の方向 4 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進」 → <u>施策4－①「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する意識啓発の充実</u> 本計画上記2つの施策の中で、男性の育児参加に関して包含されております。具体的な取組として、女性だけでなく男性自身の意識改革についての取組や家庭・職場における固定的役割分担意識の解消に向けた取組等推進してまいります。いただいたご意見は、今後の事業の参考とさせていただきます。	修正無
8	—		学校行事参加、P T A 活動、病気時の対応は父親である男性職員の任務として業務マ		修正無
9	—		女性活躍が進まない原因として女性の家事負担の高さが挙げられることから、家庭マネジメントも重要な家庭業務である意識を育て、男性職員に朝食、夕食準備は、業務の一環であることを推進し、定時帰宅、または、週休3日制の徹底化を図る。		修正無